

令和6年度 自己点検・自己評価 学生満足度調査

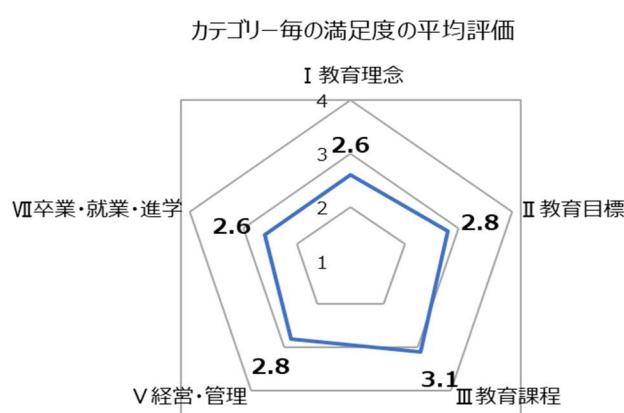
I 調査概要

本校の教育課程や学生の学習環境を改善することを目的とし、3年生を対象に満足度調査を実施した。

- 調査日 令和7年3月12日（水）
- 調査対象 3年生（41回生） 16名
- 調査方法 質問紙 留置き法
「看護師等養成所の自己点検・自己評価指針」に基づき、今回調査を行うカテゴリーと下位項目を抽出し、満足度を測定する質問文を設定した。満足度は4（そう思う）から1（思わない）までの4段階評価とした。
- 回答者数（回収率） 16名（100%）

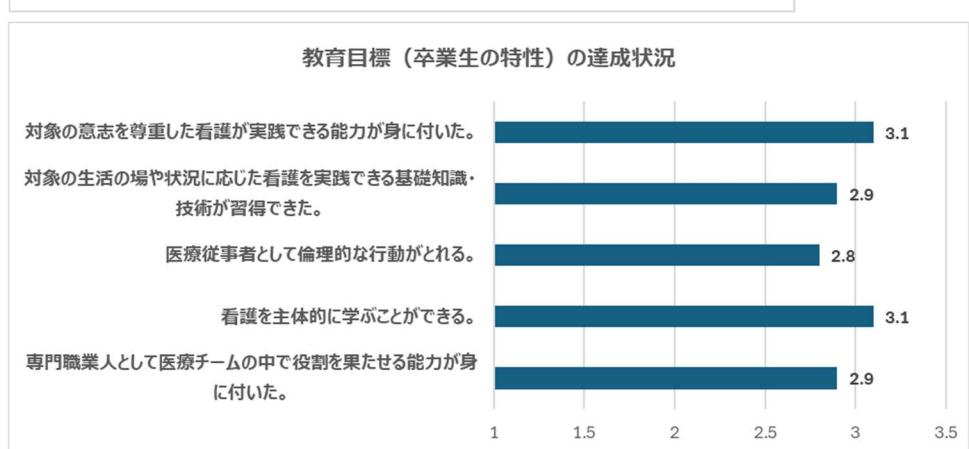
II 結果・まとめ

学生満足度を評価するためのカテゴリーを5つ選出し、下位項目内容の評価の平均を下記のレーダーチャートに表した。最も低かったのはI 教育理念 2.6、VII卒業・就業・進学 2.6 であった。I 教育理念については前年度も低い評価であったため、教育目標の達成状況を確認し、教育理念に繋げる必要があった。そこで、評価の低い教育目標を確認する



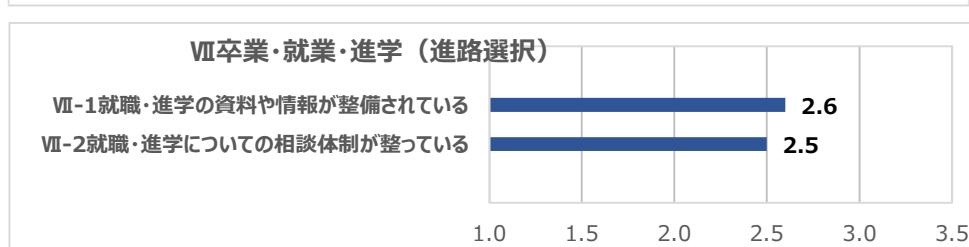
ため、今回は調査項目の見直しを行い実施した。

その結果、II 教育目標の達成状況では「医療従事者としての倫理的な行動がとれる」が2.8と低かった。倫理については、強化をはかる為の講義「医療者の倫理・1単位」や実習においては意図的に指導し、実習場面では学生は倫理的な行動がとれているとの教員の評価であった。しかし、学生の評価が低い為、その理由を分析する必要がある考える。



VII卒業・就業・進学についても2.6と低い値であった。

その内訳は就職・進学の資料や情報の整備、相談体制であった。2年課程の学生は既に就職していることから、就職情報提供や相談は積極的に実施してこなかった経緯がある。しかし、学生のニーズがあることを前提に、就職担当者を置き、



就職案内や就職相談窓口を活用できるようにしていきたい。また、先輩から後輩へ就職情報が提供される仕組み作りも必要と考える。